



平成19年8月8日

各 位

会社名 株式会社 新 川
 代表者名 代表取締役社長 上原 宏一
 (コード番号6274 東証第一部)
 問合せ先 常務取締役経営企画部長 田辺 哲也
 (電話番号 042-560-4848)

(訂正) 「平成19年3月期 第1四半期財務・業績の概況(連結)」の
 一部訂正について

平成18年8月8日に発表いたしました「平成19年3月期 第1四半期財務・業績の概況(連結)」について、記載内容の一部に訂正すべき事項がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 訂正理由

連結キャッシュ・フロー計算書の作成において、新たに連結の範囲に含めたSHINKAWA PHILIPPINES, INC. が保有していた現金及び現金同等物の取扱いに誤りがあったため。

2. 訂正箇所

訂正箇所は下線で示しております。

(2ページ)

【連結キャッシュ・フローの状況】

(訂正前)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年3月期第1四半期	△ 344	<u>378</u>	△ 466	14,713
18年3月期第1四半期	—	—	—	—
(参考) 18年3月期	2,894	△ 1,034	△ 437	15,116

(訂正後)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年3月期第1四半期	△ 344	<u>354</u>	△ 466	14,713
18年3月期第1四半期	—	—	—	—
(参考) 18年3月期	2,894	△ 1,034	△ 437	15,116

〔財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等〕

（訂正前）

<前略>

（キャッシュ・フロー計算書）

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、税金等調整前四半期純利益1,196百万円の計上及び、減価償却費204百万円、その他の増加額205百万円のキャッシュ・フローのプラス要因に対し、売上債権の増加額730百万円、たな卸資産の増加額893百万円、仕入債務の減少額327百万円のキャッシュ・フローのマイナス要因を主因として、344百万円のマイナスとなりました。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、定期預金の預入による支出360百万円、定期預金の払戻による収入245百万円の他、投資有価証券の売却等による収入900百万円、有形固定資産の取得による支出346百万円などを主因として、378百万円のプラスとなりました。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、配当金の支払465百万円を主因として、466百万円のマイナスとなりました。

以上の結果、当第1四半期末の現金及び現金同等物の残高は、前期末に比べ404百万円減少し、14,713百万円となりました。

（訂正後）

<前略>

（キャッシュ・フロー計算書）

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、税金等調整前四半期純利益1,196百万円の計上及び、減価償却費204百万円、その他の増加額205百万円のキャッシュ・フローのプラス要因に対し、売上債権の増加額730百万円、たな卸資産の増加額893百万円、仕入債務の減少額327百万円のキャッシュ・フローのマイナス要因を主因として、344百万円のマイナスとなりました。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、定期預金の預入による支出360百万円、定期預金の払戻による収入221百万円の他、投資有価証券の売却等による収入900百万円、有形固定資産の取得による支出346百万円などを主因として、354百万円のプラスとなりました。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、配当金の支払465百万円を主因として、466百万円のマイナスとなりました。

以上の結果、当第1四半期末の現金及び現金同等物の残高は、前期末に比べ427百万円減少し、新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額23百万円とあわせ14,713百万円となりました。

(9 ページ)

4. (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(訂正前)

(単位：百万円)

	前第1四半期 (平成17年4月1日から 平成17年6月30日まで)	当第1四半期 (平成18年4月1日から 平成18年6月30日まで)	(参考) 前連結会計年度 (平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで)
区 分	金 額	金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期) 純利益	—	1,196	3,742
減価償却費	—	204	740
売上債権の増加額	—	△ 730	△ 2,636
たな卸資産の増加額	—	△ 893	△ 958
仕入債務の増加額(△減少額)	—	△ 327	2,272
その他	—	205	△ 266
営業活動によるキャッシュ・フロー	—	△ 344	2,894
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
定期預金の預入による支出	—	△ 360	△ 2,649
定期預金の払戻による支出	—	245	3,385
投資有価証券の取得による支出	—	—	△ 1,123
投資有価証券の売却等による収入	—	900	600
有形固定資産の取得による支出	—	△ 346	△ 619
その他	—	△ 61	△ 629
投資活動によるキャッシュ・フロー	—	378	△ 1,034
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
配当金の支払額	—	△ 465	△ 433
その他	—	△ 1	△ 3
財務活動によるキャッシュ・フロー	—	△ 466	△ 437
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	—	29	135
V 現金及び現金同等物の増加額 (又は減少額)	—	△ 404	1,559
VI 現金及び現金同等物の期首残高	—	15,116	13,558
VII 現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高	—	14,713	15,116

(訂正後)

(単位：百万円)

	前第1四半期 (平成17年4月1日から 平成17年6月30日まで)	当第1四半期 (平成18年4月1日から 平成18年6月30日まで)	(参考) 前連結会計年度 (平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで)
区 分	金 額	金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期) 純利益	—	1,196	3,742
減価償却費	—	204	740
売上債権の増加額	—	△ 730	△ 2,636
たな卸資産の増加額	—	△ 893	△ 958
仕入債務の増加額(△減少額)	—	△ 327	2,272
その他	—	205	△ 266
営業活動によるキャッシュ・フロー	—	△ 344	2,894
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
定期預金の預入による支出	—	△ 360	△ 2,649
定期預金の払戻による支出	—	221	3,385
投資有価証券の取得による支出	—	—	△ 1,123
投資有価証券の売却等による収入	—	900	600
有形固定資産の取得による支出	—	△ 346	△ 619
その他	—	△ 61	△ 629
投資活動によるキャッシュ・フロー	—	354	△ 1,034
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
配当金の支払額	—	△ 465	△ 433
その他	—	△ 1	△ 3
財務活動によるキャッシュ・フロー	—	△ 466	△ 437
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	—	29	135
V 現金及び現金同等物の増加額 (又は減少額)	—	△ 427	1,559
VI 現金及び現金同等物の期首残高	—	15,116	13,558
VII 新規連結に伴う現金及び現金同等物 の増加額	—	23	—
VIII 現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高	—	14,713	15,116